

SYUPPIN[®]

**2016年3月期
第2四半期決算補足資料**

シュッピン株式会社

www.syuppin.co.jp (証券コード:3179)



名称	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.
証券コード	3179
代表者	鈴木 慶
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-14-11 日廣ビル3階
設立	2005年8月
事業内容	インターネットを利用して、価値ある大切な中古品を安心安全にお取引を行う
従業員数	187名(2015年9月末)

沿革	1994年8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業
	2005年8月	当社設立(資本金100,000千円)
	2006年6月	時計買取・販売事業を開始
	2008年4月	筆記具買取・販売事業を開始
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始
	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場



EC主軸で、EC売上は順調

EC主軸の会社であり、成長のメインドライバーはECになります。
EC経由での買取、販売は順調に推移しています。

免税売上(インバウンド消費)はあくまで+α

1商材1店舗のみの運営であるため、インバウンド消費(店舗のみ)はあくまで+αの位置づけ。(営業施策もECに力点を置いています)
元々インバウンド消費(店舗)での売上増加は限定的に見ています。

EC売上高拡大による成長戦略に変更はまったくありません

8月下旬以降、免税での新品売上が弱くなっていますが、
逆にECでの中古品売上は好調に推移しています。

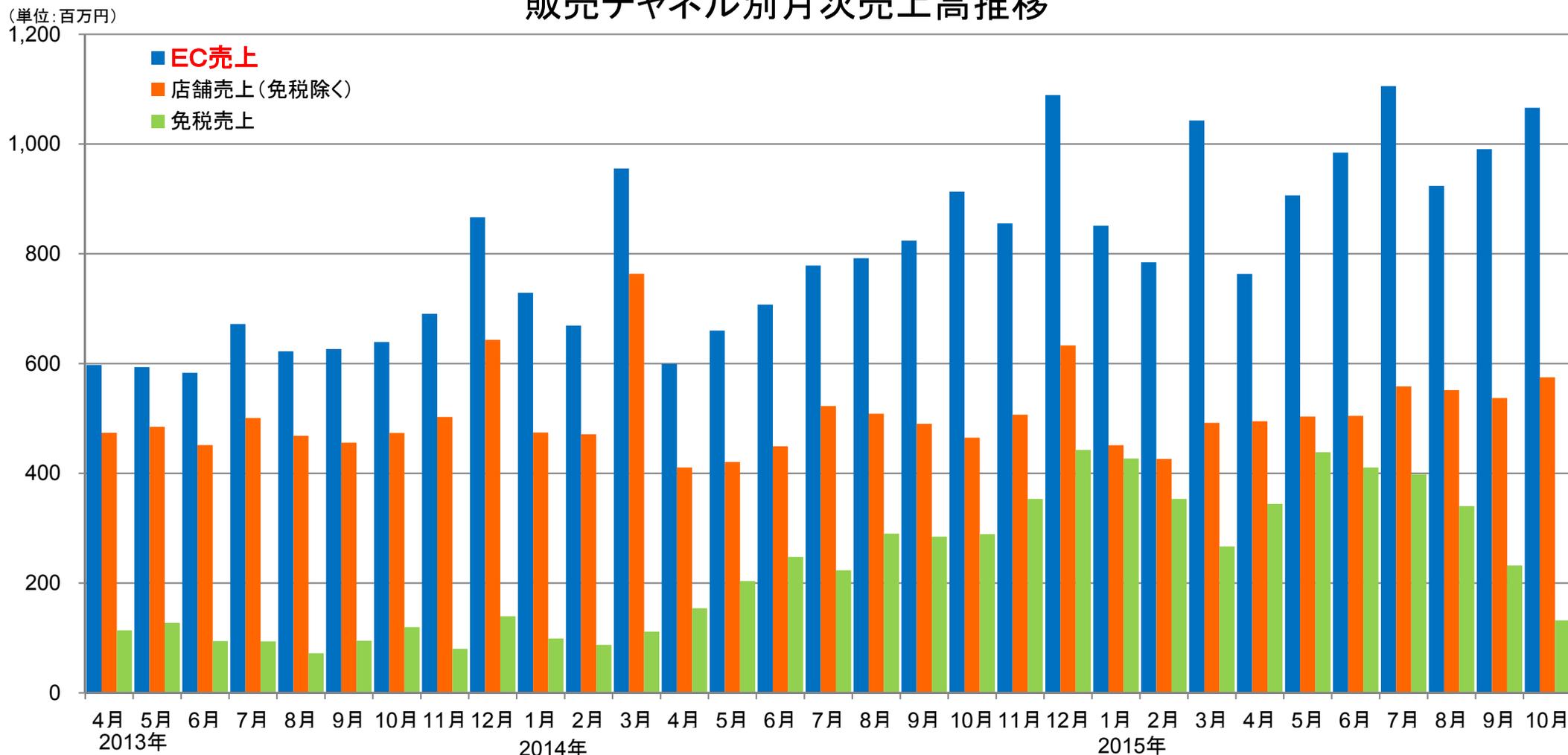
第2四半期ハイライト:EC売上高が順調に伸長



成長のメインドライバーであるEC売上高が順調に拡大。

店舗売上に含まれる免税売上は、昨年度より想定以上の伸びを見せ、足元は免税での新品売上が弱くなっているが、あくまでECが主軸であるため、**今後も当社成長持続は不変。**

販売チャネル別月次売上高推移



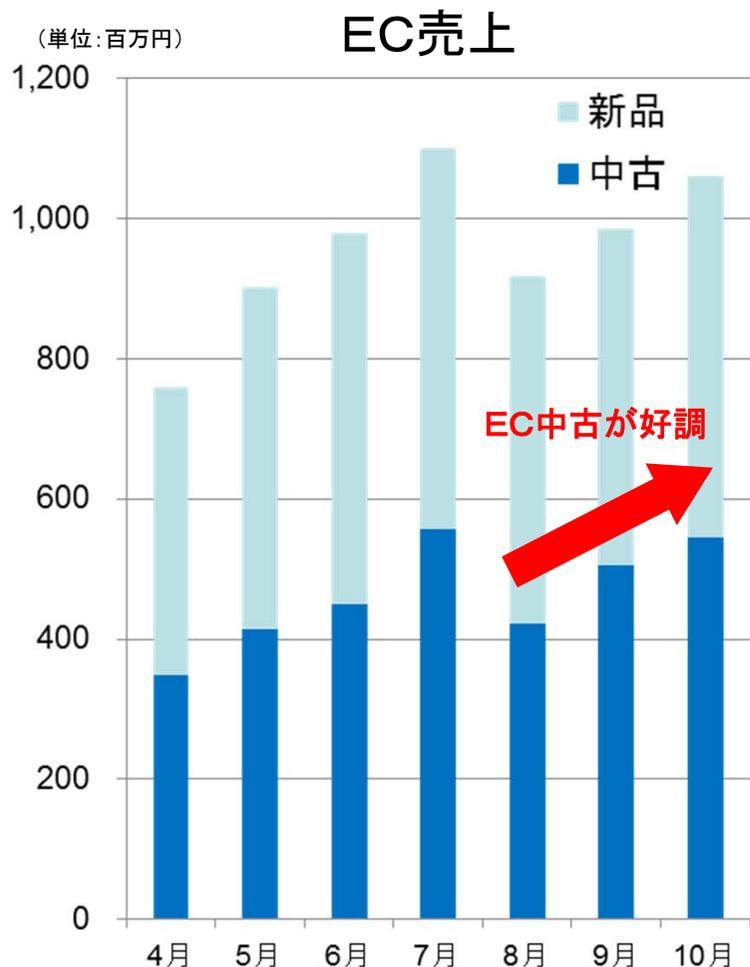
第2四半期ハイライト: 売上構成の変化



8月下旬以降 ECでの中古品売上が好調

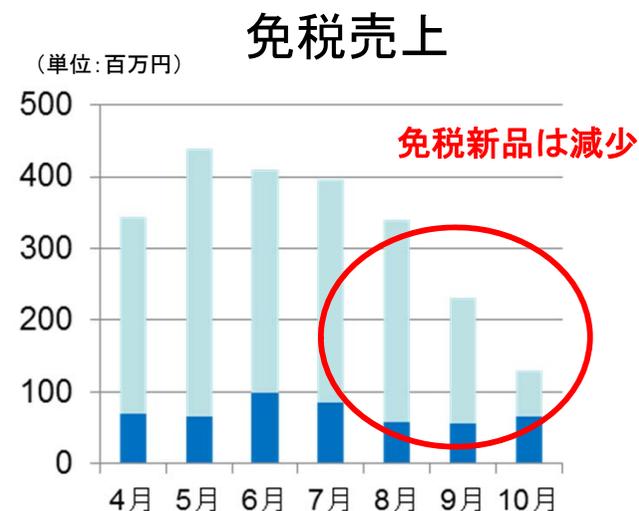
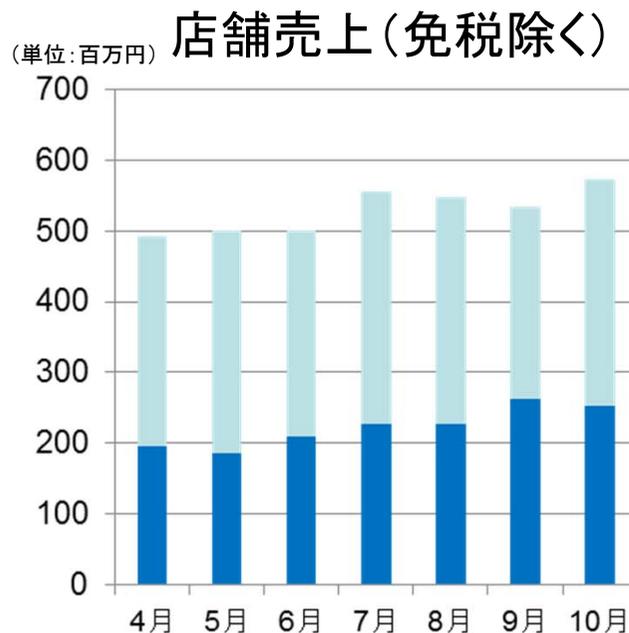
免税での新品売上弱くなるが、新品に比べて粗利率の高い中古がECで好調。
売上構成としては、インバウンド消費で新品比率が上がっていた時に比べて健全な内容に。

販売チャネル・新品/中古品別月次売上高推移



全体売上高に占める中古品比率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
比率	38.6%	36.2%	40.1%	42.3%	39.3%	47.1%	48.7%



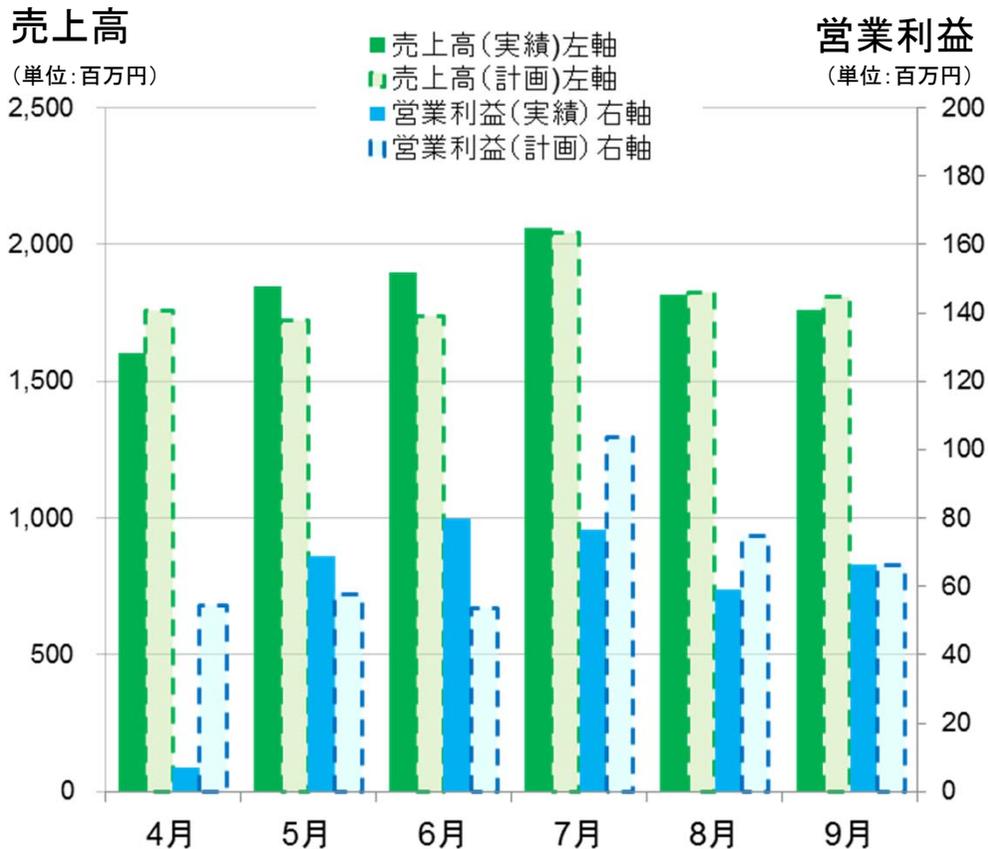
第2四半期ハイライト:計画対比



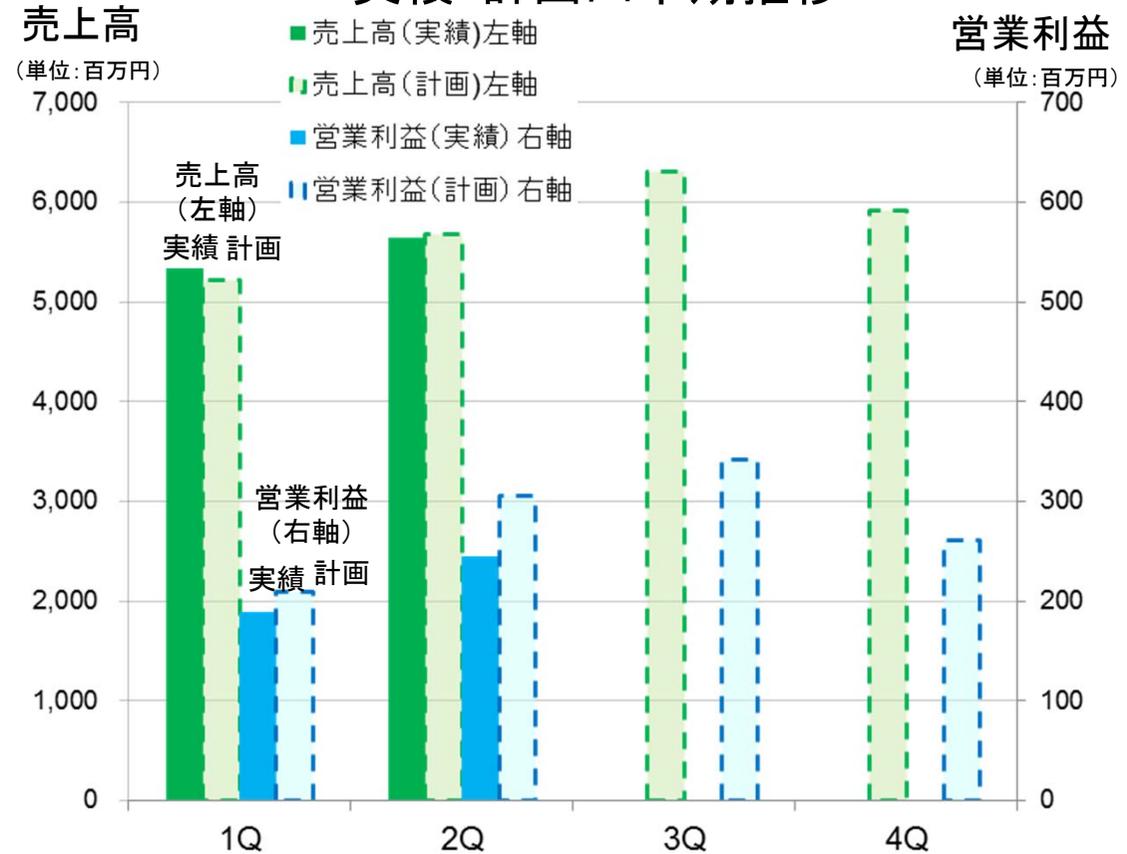
7月度はセールを強く実施したため、利益段階で計画を下回る。
8、9月と主力のECは好調に推移。

**第2四半期累計(4~9月計)では、売上高は計画通り、
利益は4月新システム不具合影響(一時的要因)あり未達。**

実績・計画月次推移



実績・計画四半期推移



第2四半期 決算概要



大幅な増収、増益。

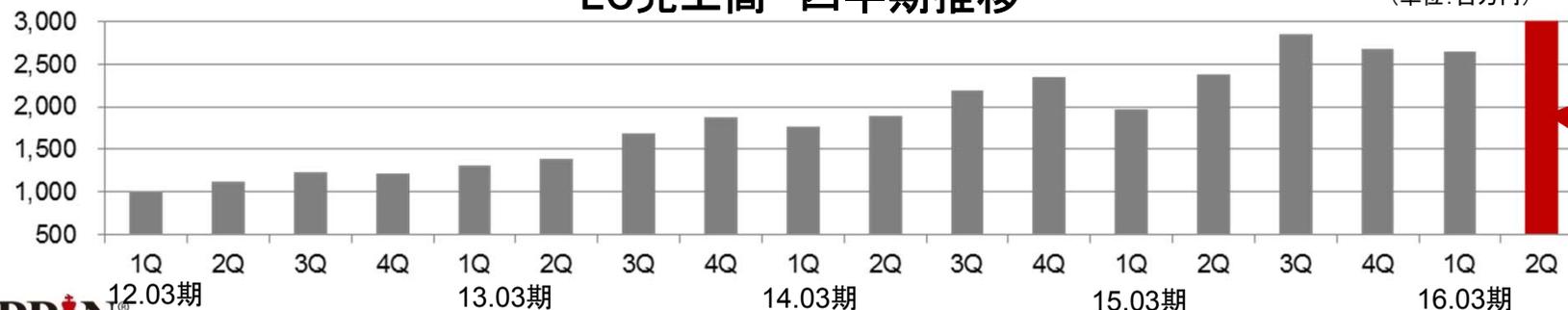
粗利率減少は、前年同期より新品売上比率が4～8月度上昇したこと、4、7月にセールを実施したことによる。(8月下旬以降は粗利率改善)

(単位:百万円)

	15.03期 2Q		16.03期 2Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	計画	計画比増減
売上高	8,547		10,961		128.2%	10,900	+61
売上総利益	1,492	17.5%	1,852	16.9%	124.1%	—	—
販売管理費	1,150	13.5%	1,418	12.9%	123.3%	—	—
営業利益	342	4.0%	433	4.0%	126.7%	515	▲82
経常利益	333	3.9%	425	3.9%	127.4%	506	▲81
当期純利益	211	2.5%	283	2.6%	134.0%	337	▲54

EC売上高 四半期推移

(単位:百万円)



前年同期比
126.1%

事業別業績の前年同期比較



(単位:百万円)

事業・販売チャネル		15.03期 第2四半期	16.03期 第2四半期		備考
		実績	実績	前年同期比	
カメラ事業	EC売上	3,401	4,576	134.5%	EC売上が順調に推移。
	店舗売上	2,868	3,406	118.3%	
	カメラ売上計	6,269	7,983	127.3%	
	セグメント利益	521	593	113.8%	
時計事業	EC売上	689	815	118.3%	EC売上順調。 前期において消費増税反動減の影響が前半にあったこともあり伸び率高い。
	店舗売上	1,216	1,746	143.6%	
	時計売上計	1,906	2,562	134.4%	
	セグメント利益	55	123	221.7%	
筆記具事業	EC売上	106	139	130.9%	
	店舗売上	71	75	104.9%	
	筆記具売上計	177	214	120.4%	
	セグメント利益	14	24	172.2%	
自転車事業	EC売上	152	126	83.0%	黒字転換のため、利益がとれる中古品の買取・販売を拡充。中古品売上が伸びたことと、コスト見直しも行ったことで黒字確保。
	店舗売上	41	75	183.3%	
	自転車売上計	193	201	104.4%	
	セグメント利益	▲8	2		
合計	EC売上	4,349	5,657	130.1%	
	店舗売上	4,197	5,303	126.3%	
	売上高合計	8,547	10,961	128.2%	

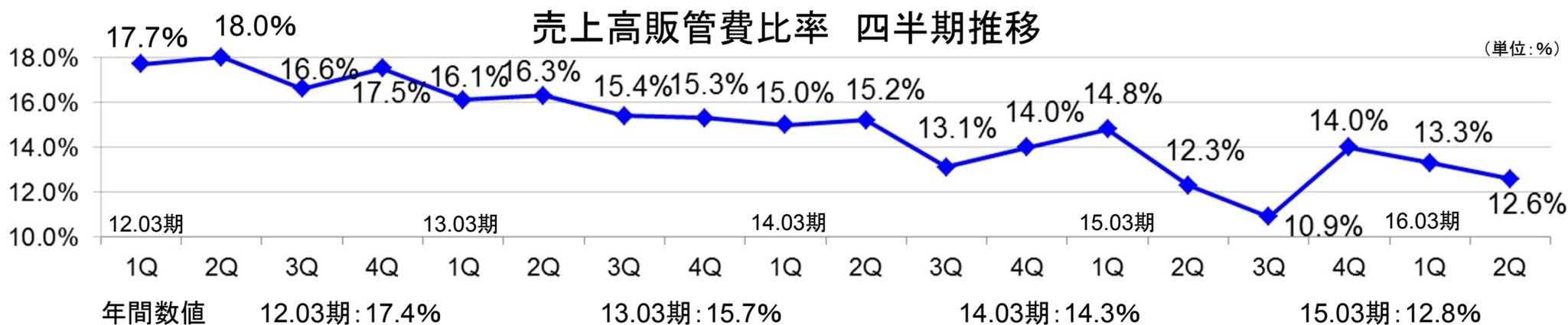
販売管理費の前年同期比較



新基幹業務システム稼働により償却費等増加しているものの、
売上高販管費比率は低減し、前年同期比0.5ポイント減少。

(単位:百万円)

	15.03期 第2四半期		16.03期 第2四半期		前年同期比	
	実績	売上比	実績	売上比	売上比(PT)	増減
人件費	455	5.3%	491	4.5%	▲0.8	+36
広告宣伝費	18	0.2%	30	0.3%	+0.1	+11
販売促進費	121	1.4%	169	1.5%	+0.1	+47
業務委託費	50	0.6%	83	0.8%	+0.2	+33
支払手数料	198	2.3%	242	2.2%	▲0.1	+44
減価償却費	39	0.5%	92	0.8%	+0.4	+52
地代家賃	84	1.0%	105	1.0%	0.0	+20
その他	182	2.1%	204	1.9%	▲0.3	+21
販売管理費計	1,150	13.5%	1,418	12.9%	▲0.5	+268



貸借対照表 前四半期末比較



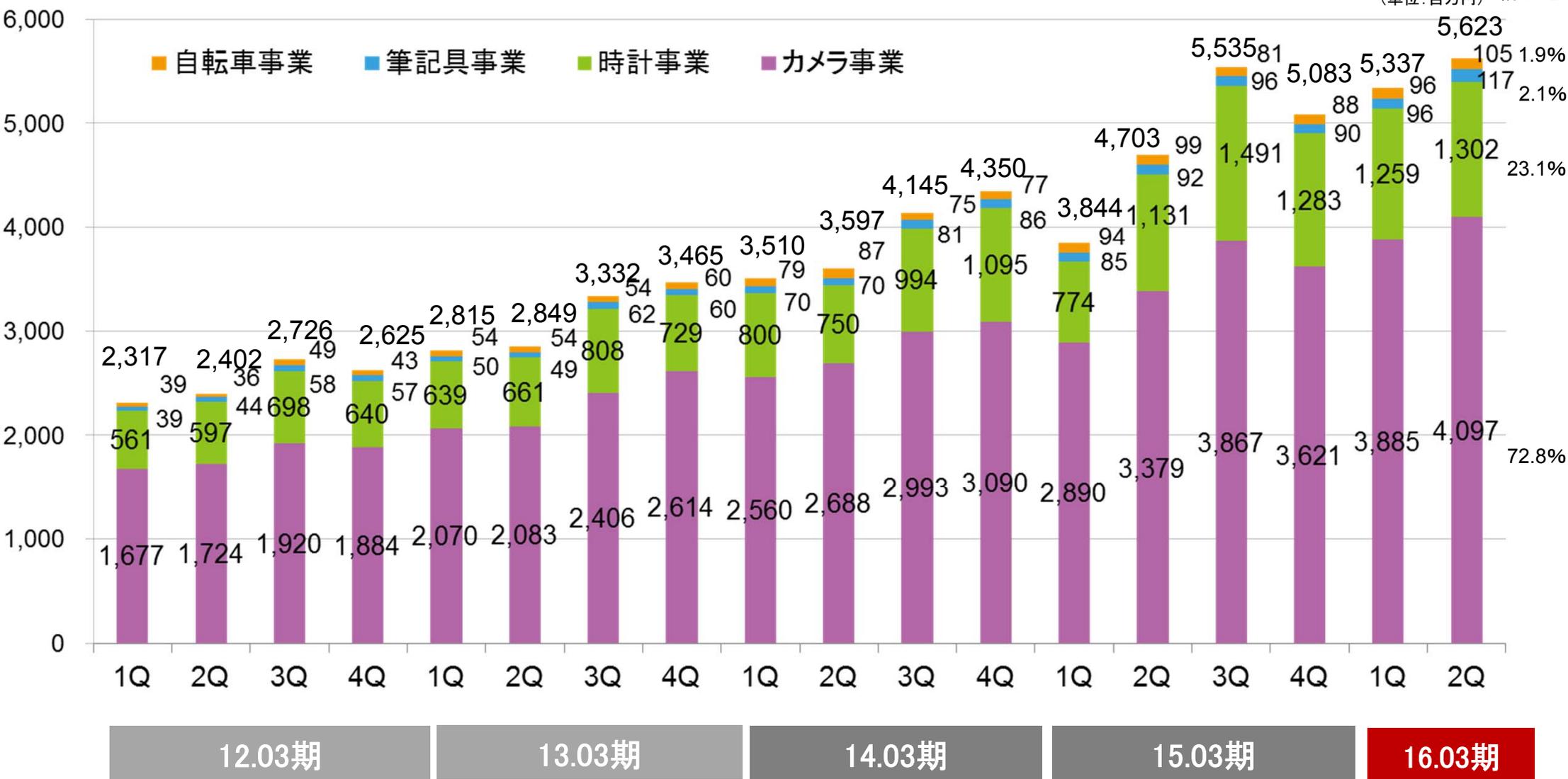
(単位:百万円)

	16.03期 第1四半期	16.03期 第2四半期	
		実績	増減
流動資産	4,712	4,618	▲94
商品	2,860	2,806	▲53
固定資産	1,077	1,057	▲20
繰延資産	0.1		
資産合計	5,790	5,675	▲119
流動負債	2,652	2,448	▲203
固定負債	821	750	▲71
負債合計	3,474	3,199	▲274
純資産合計	2,316	2,476	+159
負債・純資産合計	5,790	5,675	▲119

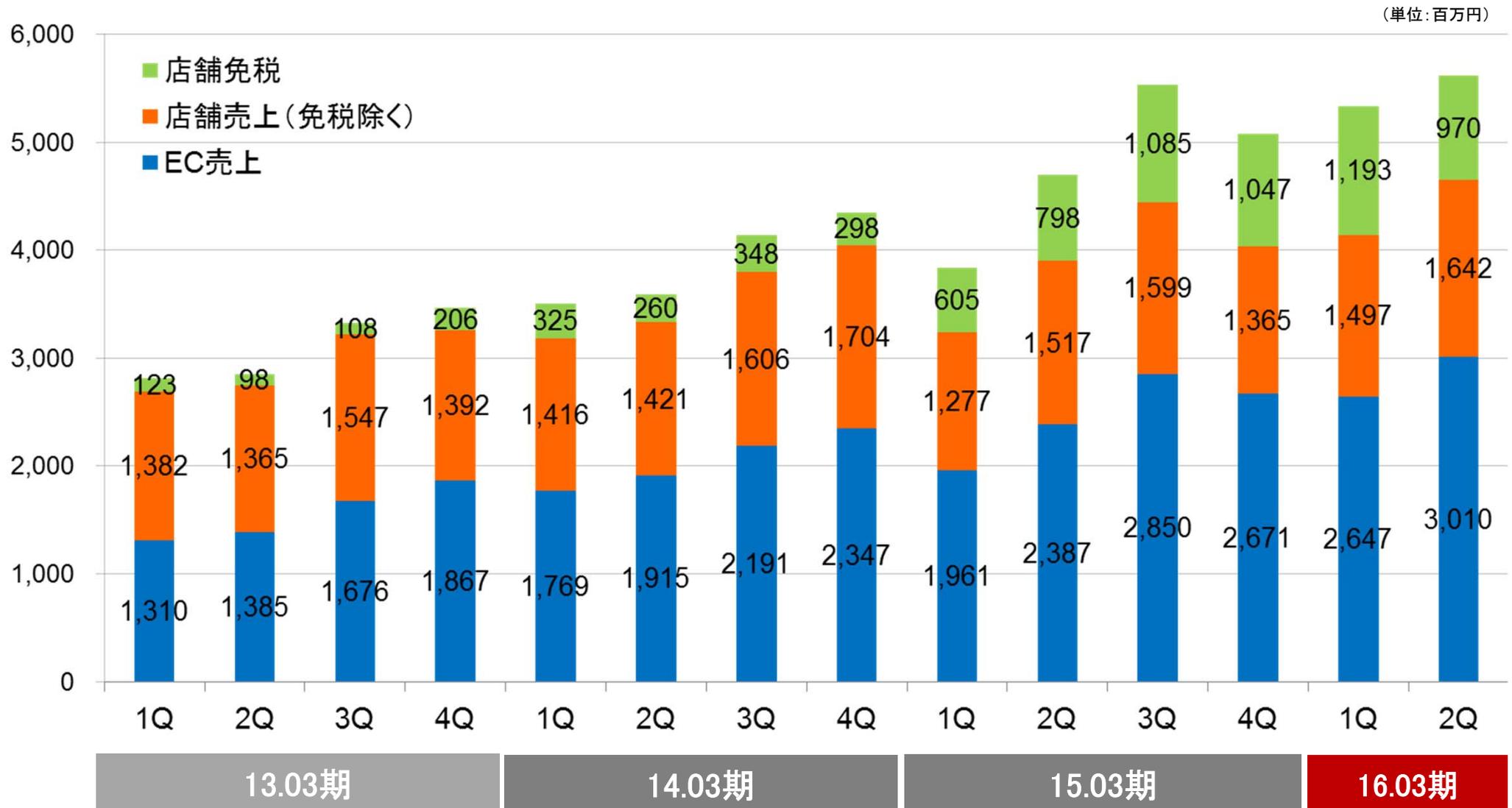
事業別売上高の四半期推移



(単位:百万円) 構成比



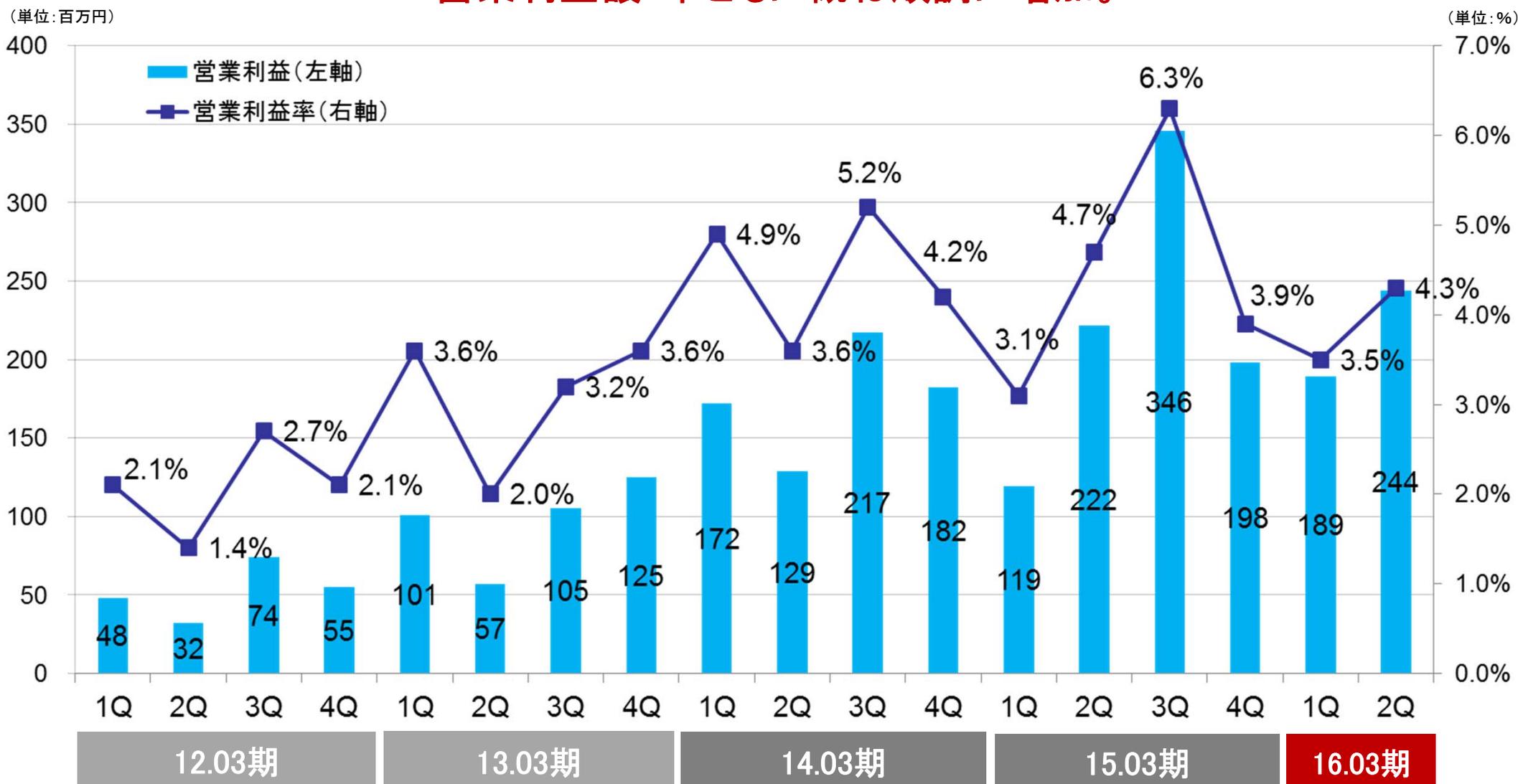
販売チャンネル別売上高の四半期推移



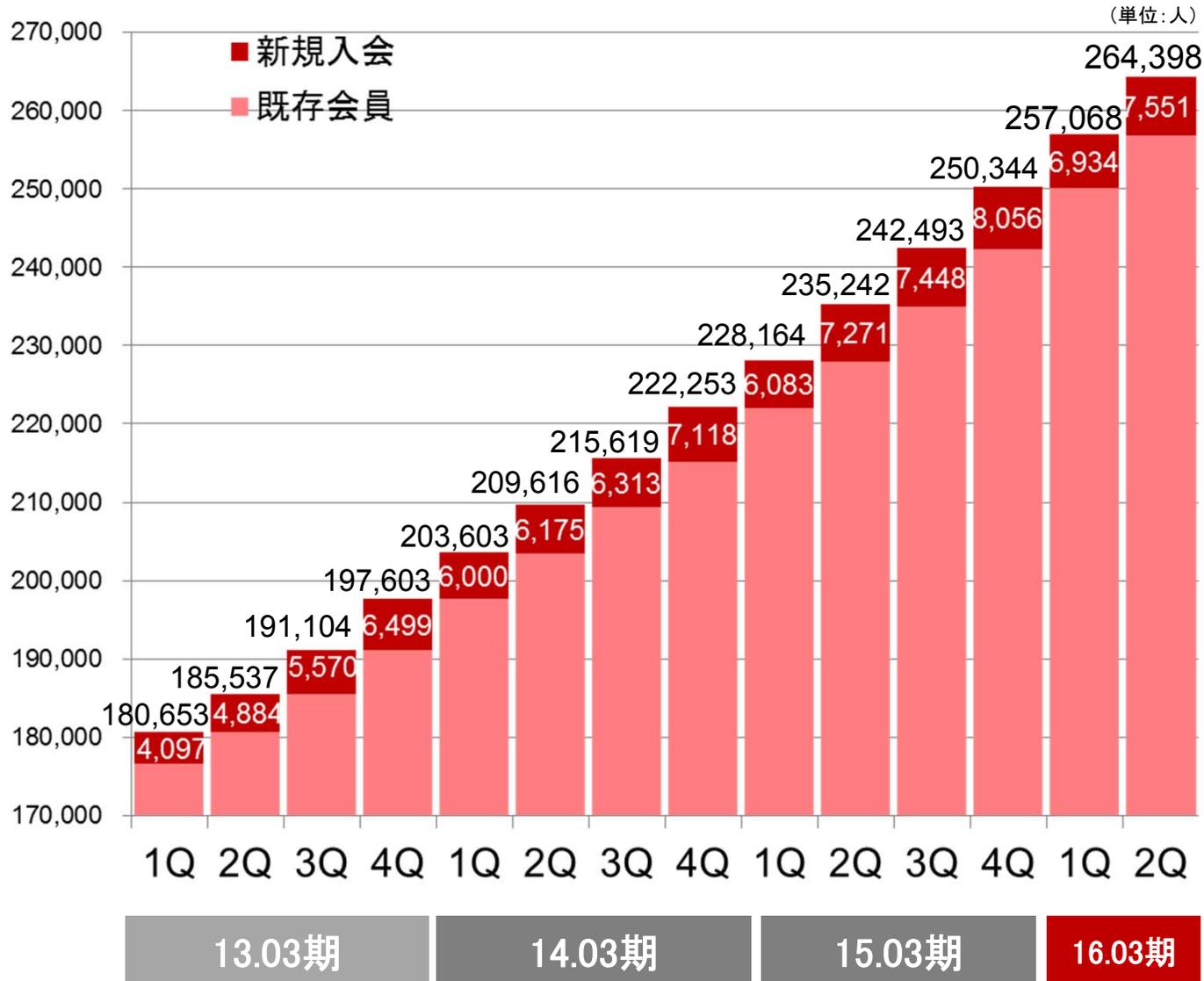
営業利益・営業利益率の四半期推移



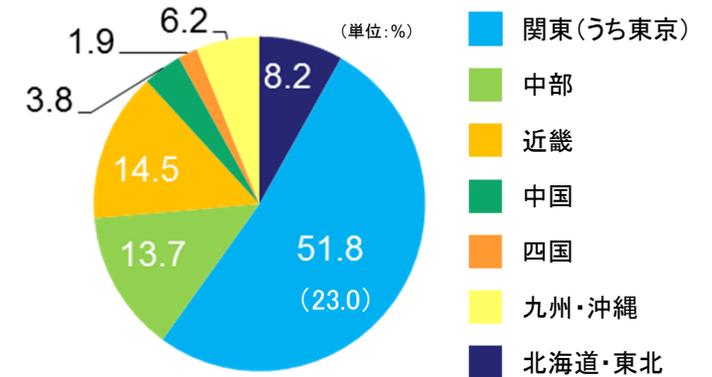
12月商戦により、3Q営業利益が最も大きくなるのが通常トレンド。
 7月度のセール実施等の影響により、営業利益率の増加が若干低くなったものの
 営業利益額・率ともに概ね順調に増加。



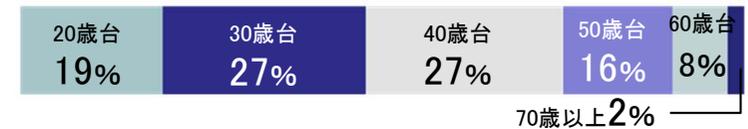
Web会員数の四半期推移、会員属性



Web会員地域分布 (2015年9月末)



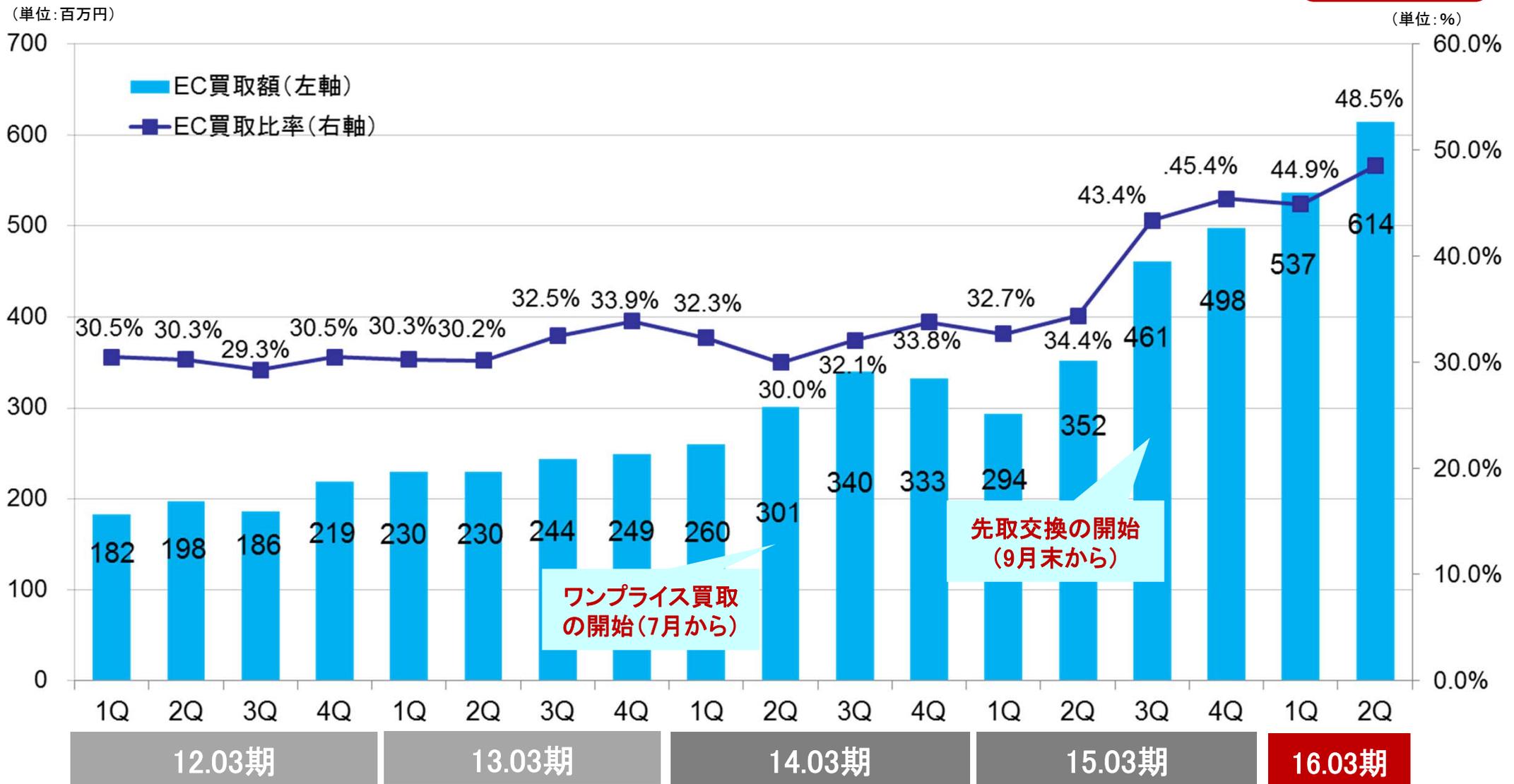
Web会員年齢分布 (2015年9月末)



補足資料 カメラ事業 中古品EC買取推移



前年同期比
174.4%

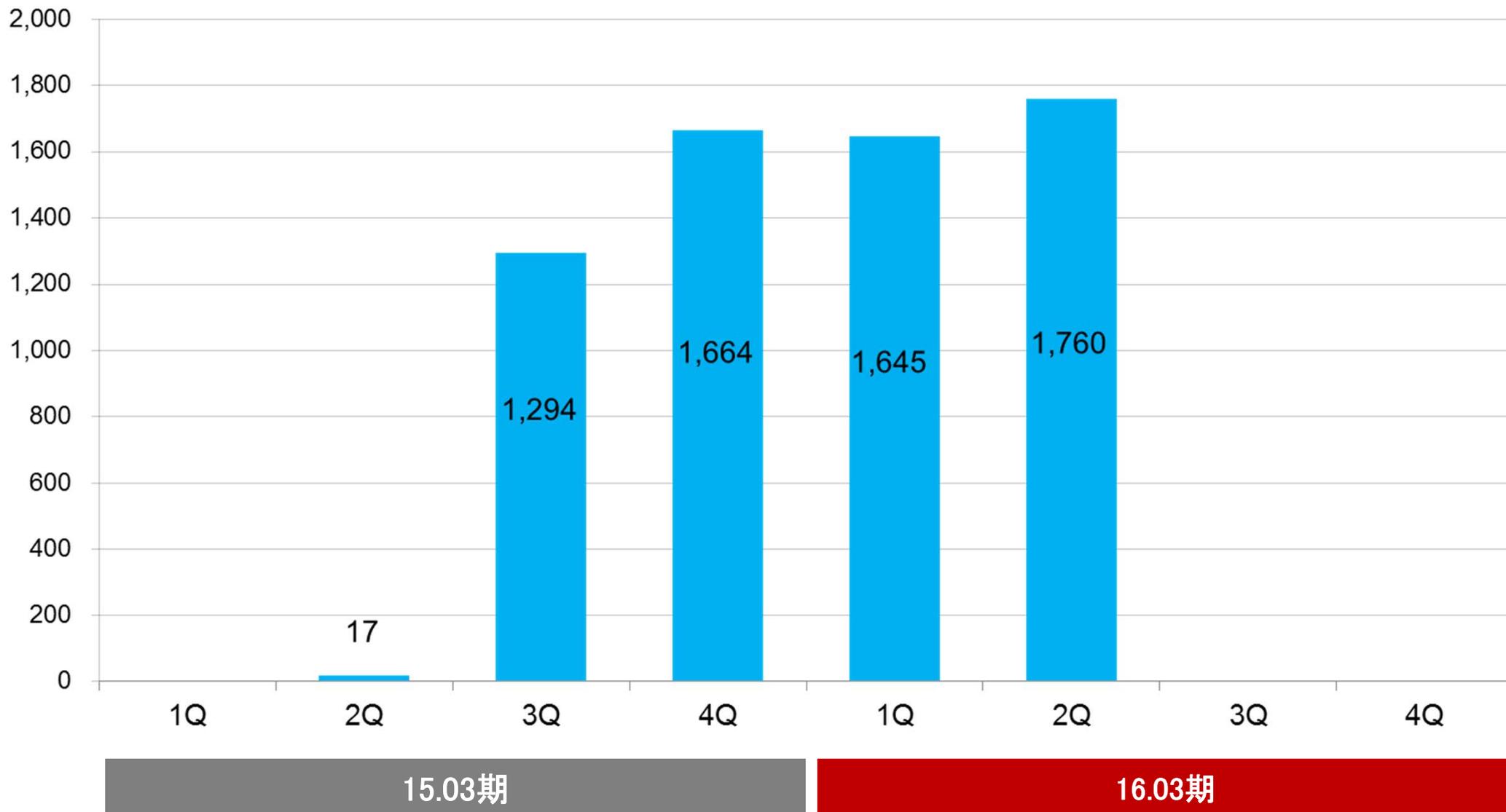


補足資料 先取交換件数推移



先取交換件数

(単位: 件)





- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。